

平成20年度当初予算 重点的な取組別概要
<みえの舞台づくりプログラム>

元気4：知恵と知識を呼び込み、多様なイノベーションを生み出せる環境づくりプログラム

(主担当部：農水商工部)

<プログラムの目標>

知恵と知識を呼び込み、県内製造業の知識集約型産業構造への転換をリードする人材や、地域に密着したビジネスを創出できる人材など、多様なイノベーションを生み出せる人材が育つ環境の整備が進められています。

<構成事業(担当部)>

- (1) 研究開発機能集積促進事業(農水商工部)
- (2) 産業人材育成基盤整備事業(農水商工部)
- (3) みえ地域コミュニティ応援ファンド(果実運用型)事業(農水商工部)
- (4) コミュニティビジネス支援事業(農水商工部)

<プログラムの想定事業費>

(単位：千円)

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
1,065,637	(1,005,000) 1,099,521	104,000	86,000

H19年度は現計予算額、H20年度は当初予算要求額

H20年度の上段括弧書き、H21年度、H22年度は第二次戦略計画の記載額

<構成事業の目標>

目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(1) ネットワークを活用した研究開発数	目標値		3件	4件	5件	6件
	実績値	2件				
(2) 育成がはかられた産業技術人材数	目標値		180人	210人	240人	270人
	実績値	151人				
(3) ファンドによる新事業創出数	目標値			7件	10件	10件
	実績値					
(4) アドバイザーの育成数(累計)	目標値		24件	34件	34件	34件
	実績値	14件				

<進捗状況(現状と課題)>

- ・県内企業による設備投資が進み、製造品出荷額が着実な伸びを示すなど、三重県の産業は元気になりつつありますが、引き続き、県内製造業の競争力を維持していくには、イノベーションが次々と生まれ、より付加価値の高い製品を生み出せる知識集約型産業構造へと転換していくことが必要です。
- ・このため、県では企業、大学、四日市市などの協力を得ながら、高度部材等にかかる最先端の研究開発から、中小・ベンチャー企業等の支援、人材育成までを1か所で行う「高度部材イノベーションセンター」の整備を進めているところです。
- ・平成19年7月には、同センターを中核施設に位置づけた「三泗地域産業活性化計画」が企業

立地促進法に基づき、全国1号として認定されるとともに、平成19年8月には、同センターにおいて企業・大学等が連携しながら行う研究開発の第1弾として、「超ハイブリッド材料技術開発」をテーマとした国の研究開発プロジェクトの採択を受けたところです。

- ・ 今後は、多様なイノベーションを生み出せる環境づくりのために、多様な主体との一層の連携を進めていくことが必要です。
- ・ また、地域のもっている資源を活用した新たなビジネスの創出を促進するため、果実運用型の「みえ地域コミュニティ応援ファンド」を（財）三重県産業支援センターに造成し、この運用益を使って地域への貢献度が高い事業の初期段階の支援に取り組んでいます。
- ・ 今後も、地域産業を活性化し、魅力ある地域としていくため、地域の知恵と知識や資源を活用した事業をより多く創出していくことが必要です。

<平成20年度の取組方向>

「高度部材イノベーションセンター」において産学官の連携により実施する研究開発プロジェクトの準備を着実に進めるとともに、中小企業の技術の高度化、製品の高付加価値化を支援する体制を整えます。

製造業の技術者や若手技能者など、将来のものづくり産業を支える人材育成を推進するとともに、大学・企業等のさまざまな研究者が集い、大学の研究シーズと企業のシーズのマッチングをはかる新たなしくみづくりを進めます。

地域ビジネスの創出を支援するため、地域の多様な主体で構成する支援組織の設置を促進するとともに、各地域で事業をマネジメントするリーダー人材の育成を支援します。

<他の主体の参画内容>

- ・ 四日市市は「高度部材イノベーションセンター」の整備・運営に参画します。
- ・ 企業や大学は「高度部材イノベーションセンター」において、研究開発プロジェクトに取り組むとともに、研究開発を通じた人材育成を行います。
- ・ 市町は地域ビジネスに関するインキュベーション機能の充実をはかり、その創出支援に取り組みます。
- ・ 起業家等は地域の特性を生かした事業や地域課題に対応した事業などを創出します。

<主な予算要求事業>

研究開発機能集積促進事業【20年度予算額 24,576千円】(事業(1))

県内に企業等の研究開発機能を集積するとともに、大学・公設試などの研究開発機能との連携を進めることにより、県内産業の知識集約型産業構造への転換を促進します。

産業人材育成基盤整備事業【20年度予算額 138,806千円】(事業(2))

北勢地域に集積する加工組立産業と素材・部材産業との連携によるイノベーションを誘発するため、「高度部材イノベーションセンター」を舞台に高度部材産業クラスターの形成を推進します。さらに、高度部材産業との連携のもと、メカトロ関連産業の集積をはかるため、中勢地域での「大学等研究成果活用プラザ(仮称)」の整備を促進します。

ものづくりソリューション機能強化事業【20年度予算額 31,800千円】(事業(2))

(財)三重県産業支援センターにおける中小企業の課題解決支援機能の充実をはかります。また、地元および首都圏の学生を対象に体験事業を実施することで、県内中小企業の魅力を発信す

るとともに、若手人材の確保に努めます。

みえ地域コミュニティ応援ファンド(果実運用型)事業【20年度予算額 901,205 千円】(事業(3))

「みえ地域コミュニティ応援ファンド(果実運用型)」を組成し、地域の特性を生かした事業や地域資源を活用した事業などの取組に対して資金面から支援します。

コミュニティビジネス支援事業【20年度予算額 3,134 千円】(事業(4))

多様な主体が、地域の特性を生かした事業や地域課題に対応した事業などを行う、コミュニティビジネスの普及・啓発や創業を支援する体制づくりを進めます。

